

褥瘡発生率

褥瘡とは、寝たきりなどによって、体重で圧迫されている場所の血流が悪くなったり滞ることで、傷ができてしまうことで「床ずれ」ともいわれています。

自分で体位変換ができず長期間寝たきりで、栄養状態が悪い、皮膚が弱くなっている人が圧迫だけでなく摩擦やずれなど刺激が繰り返されている場合は褥瘡になりやすいといわれており、褥瘡の発生は患者さまの状態の良し悪しと密接な関係があります。患者さまの状態を把握し発生を予防することは看護ケアの指標となります。

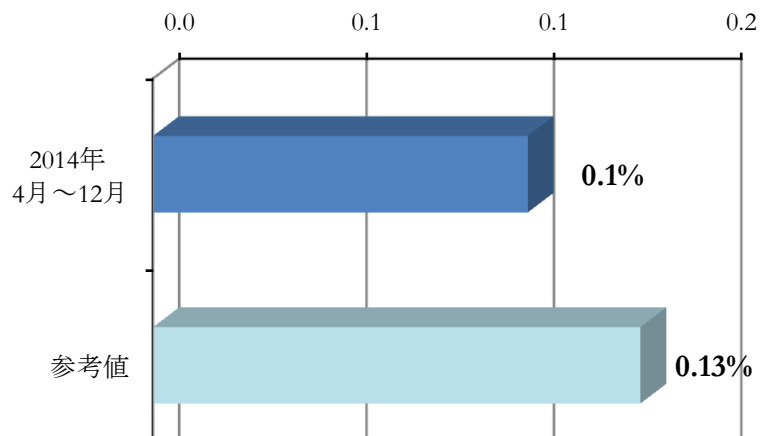
計算式

$$\frac{\text{分子: d2 以上の褥瘡の院内新規発生数}}{\text{分母: 入院延べ患者数}} \times 100 (\%)$$

～当院はどうか??～

当院では、褥瘡対策メンバーとして医師、薬剤師、看護師、栄養士、理学療法士で構成、協働しています。入院時に褥瘡に関わる危険因子を評価し予防に努めています。週1回は、褥瘡回診・カンファレンスにて問題を検討し対処しています。今後も他職種と連携をはかり入院患者様の褥瘡発生率が減少するように努めて参ります。

褥瘡発生率



※参考値: 2014年 日本病院会QIプロジェクト病院の平均より